

議会活動

先進地実態調査研修 (令和元年10月23日～25日)

- 議員12名 ●事務局2名
- 会津若松市議会視察研修

10月23日午後、会津若松市議会議場にて2名の市議より「市議会の軌跡」と題し、主に議会基本条例の制定につき議会改革の説明があった。

議会基本条例の受け止め方として、市民にとっての新たな価値創造に向け、市民参加を基軸とした政策形成サイクルの確立と実践によって積極的な政策形成を行い、まちづくりに貢献していくためのツールであると定義。市政発展への貢献が最終目的として議会運営に取り組まれていた。



会津若松市議場にて意見交換

会津若松市内視察

鶴ヶ城内視察では、南阿蘇村より寄贈された顕彰碑も視察することができ、当日は、佐川官兵衛顕彰会のメンバーの方々とも交流した。会津若松市内は、歴史のある街並みが綺麗に整備されており、観光客も多いようである。



村より寄贈された顕彰碑

阿蘇立野ダムみらい活性対策特別委員会 先進地視察研修 (11月18日～20日)

- 委員5名 ●正副議長 ●村長 ●執行部2名
- 事務局1名 ●立野ダム工事事務所2名

高知県宿毛市の横瀬川ダム・中筋川ダムと愛媛県内子町の企業組合内子ワイナリーを委員会で研修した。

横瀬川ダムでは工事中の夜間工事ツアー・ダム壁面を活用し地元自治体が整備したクライミング・森林探検サイクリング・スラックラインの整備・計画がされていた。中筋川ダムでは監査廊を活用し濁酒を貯蔵され、品質向上とダムで貯蔵した酒としてPRし農林業の振興を図られていた。中筋川ダムは下流壁面が75cmの階段状に仕上げがあり、イベント時に放水され観光面でも活用されていた。



地元自治体が設置したクライミング

内子ワイナリーは6ヘクタールの耕作放棄地を活用し生食用のぶどうを生産加工・販売している。

本村もワイン用ぶどうを栽培している。将来的にはリムトンネルを利用してのワインの貯蔵に期待したい。



名物の横瀬川ダムカレー



内子ワイナリーで研修